

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	開発環境	発行番号	TN-CSX-068A/JA	Rev.	第1版
題名	H8S,H8/300 シリーズ C/C++コンパイラ Ver.6.0.01 リビジョンアップのお知らせ		情報分類	仕様変更	
適用製品	PS008CAS6-MWR PS008CAS6-SLR PS008CAS6-H7R	対象ロット等 全ロット	関連資料	H8S、H8/300 シリーズ C/C++コンパイラ、 アセンブラ、最適化リンケージエディタ ユーザズマニュアル RJJ10B0049-0100H 第1版	

H8S,H8/300 シリーズ C/C++コンパイラパッケージ Ver.6.0.01 にリビジョンアップしました。
 次の表にあるパッケージバージョンをお持ちのお客様は、下記の注意事項を参照して下さい。

型名	パッケージバージョン	コンパイラバージョン
PS008CAS6-MWR	6.0.00	6.0.00
PS008CAS6-SLR	6.0.00	6.0.00
PS008CAS6-H7R	6.0.00	6.0.00

Windows®版をお持ちのお客様は、アップデートを以下の URL より入手できます。

<http://www.renesas.com/jpn/products/mpumcu/tool/index.html>

UNIX 版をお持ちのお客様はリビジョンアップ依頼を販売元までご連絡下さい。

本パッケージのアップデート内容を以下に示します。

ただし、項番 1 は Windows®版のみです。

1. High-performance Embedded Workshop (Windows®版)

1.1 ナビゲーション機能

ナビゲーション機能のカテゴリ"C++クラス"をデフォルトでオフに設定しました。

1.2 終了時の不具合対策

HEW の終了時に異常終了する不具合を対策しました。

1.3 ファイル再読み込み確認メッセージの表示

エディタウィンドウで開いているファイルを外部エディタで編集した場合、ファイル再読み込みの確認メッセージが表示されない不具合を対策しました。(本不具合は、Ver. 3.0.02 のみ発生します。)

1.4 メモリメニューの検索機能不正

メニューバーからメモリ(M)->検索(S)...を選択してメモリを検索した場合、空のメモリウィンドウが表示される不具合を対策しました。

1.5 Symbol Load コマンド

環境により、Symbol Load コマンドに必要なファイルがインストールされず、コマンドを実行しても動作しないという不具合を対策しました。

1.6 ビルド用プロジェクトの消失に関する注意事項の対策

SHC Ver.8.0.00/Ver.8.0.01 または H8C Ver6.0.00 のパッケージ製品をインストールした後に、エミュレータ製品を同じフォルダへインストールした場合、ビルド用のプロジェクトタイプが表示されないという不具合を対策しました。

1.7 TCL 関数内のコマンド不正

TCL 関数 (proc コマンドで定義) 内でパラメータに接頭コード(H',D',O',B')を指定した場合、コマンドが正常に動作しないという不具合を対策しました。

【例】

```
proc mem_read {} {  
  md H'FFEF80 H'32 LONG  
}
```

2. コンパイラ

2.1 RENESAS TECHNICAL UPDATE TN-CSX-065A/JA

以下の不具合を対策しました。

- a) 符号無し変数に対する定数除算時オブジェクト不正
- b) 構造体初期値不正
- c) ビットフィールド設定不正
- d) 3byte 構造体使用時の不正値設定
- e) 関数呼び出しの不正削除
- f) 2次元配列のアドレス演算結果不正
- g) ビットフィールド設定・参照不正
- h) ループ制御変数の置換不正
- i) 定数の不正伝播
- j) 文字列データの不正統合
- k) cpuexpand 指定が有効にならない
- l) 4byte 以下の構造体転送不正

2.2 内部エラー

以下の条件で内部エラーが発生することがある問題点を対策しました。

- a) ループ内で不変の配列参照があり、そのインデックス値に int(short)型の範囲を超える定数を使用した場合(C4098 出力)
- b) 変数と定数の演算を含む式が配列のインデックスに記述され、その配列を判定式の条件に使用した場合(C4098 出力)
- c) 先頭メンバが配列・構造体型の初期値ありローカル共用体を定義した場合(C4774 出力)
- d) 連続したループで1つ目のループ内の最初の文と2つ目のループの初期化条件が共通だった場合(C4098 出力)
- e) 500個以上の変数を宣言し、abs8/abs16 指定変数と指定なし変数が混在した場合(C4712 出力)
- f) (1byte 変数-定数)の式において、オーバーフローが発生する場合(C4722 出力)

2.3 オーバーフローを伴う演算判定

H8S,H8/300シリーズ C/C++コンパイラ Ver.6.0.00で注意事項としていた、"オーバーフローを伴う演算判定"を対策しました。

2.4 cpuexpand オプションの解釈変更

下記の10パターンはH8SXでは拡張命令の対象外となりますが、H8SX以外のCPUでは拡張命令の対象となります。

- a) signed long = signed int << constant
- b) signed long = unsigned int << constant
- c) unsigned long = signed int << constant
- d) unsigned long = unsigned int << constant
- e) signed int = (signed int << constant) / signed int
- f) signed int = (unsigned int << constant) / signed int
- g) signed int = (unsigned int << constant) / unsigned int
- h) unsigned int = (signed int << constant) / signed int
- i) unsigned int = (unsigned int << constant) / signed int
- j) unsigned int = (unsigned int << constant) / unsigned int

3. アセンブラ

3.1 デバッグ時のアドレスカラム値不正

H8S,H8/300シリーズ C/C++アセンブラ Ver.6.0.01において注意事項としていた問題を対策しました。

【発生条件】

以下の条件を全て満たす場合、発生することがあります。

- a) 最適化オプション(optimize)を指定している。
- b) locate を.SECTION 制御命令内で記述している。

4. 最適化リンケージエディタ

4.1 セクションのオーバーレイ配置指定時の不要なエラーメッセージ出力

初期値なしデータセクションをオーバーレイ配置した際、出力形式に binary/HEX/S-type を指定すると不要なエラーメッセージ(L2022)が出力される問題点を対策しました。

4.2 間接アドレッシングモード活用最適化指定時のオブジェクト不正

間接アドレッシングモード活用最適化を指定した場合に、シンボルの参照アドレスが0番地になる場合がある不具合を対策しました。

【発生条件】

以下の条件をすべて満たす場合、発生することがあります。

- a) 間接アドレッシングモード活用最適化(optimize=function_call)が有効である。
- b) relocatable ファイルが入力される。
- c) b)の relocatable ファイルは、複数の object ファイルから生成されている。
- d) b)の relocatable ファイルを生成している複数の object ファイルは、コンパイル時の -goptimize オプション指定があるものとないものが混在している。
- e) b)の relocatable ファイルの他にも入力するファイルが存在する(relocatable ファイル、object ファイル、ライブラリ)。

4.3 Internal error 対策

- a) アドレッシングモード短縮最適化(optimize=short_format)が有効な場合に、内部エラー(L8996)となる場合がある不具合を対策しました。
- b) 共通コード統合最適化(optimize=same_code)が有効な場合に、内部エラー(L4001)となる場合がある不具合を対策しました。

以上